



文部科学大臣認定「職業実践力育成プログラム（BP）」
履修証明プログラム 事業構想プロジェクト研究・80時間bコース

令和8年（2026年）6月開始予定 第4期

庄内事業構想プロジェクト研究 募集要項

庄内エリアにおける
地域課題解決に資する事業構想の構築と人材育成の推進

主催



学校法人 先端教育機構

事業構想大学院大学 事業構想研究所

共催



住友商事



庄内事業構想プロジェクト研究とは



持続可能な経営のためには、新事業の創出やビジネスモデルの変革が不可欠となっています。気候変動やデジタル技術の革新など社会が大きく変容するなか、社会を見据え、多様化する顧客ニーズに合わせた新たな価値創造が求められます。

本研究会の舞台となる庄内地域は、日本海に注ぐ最上川、東の出羽山地を源とする赤川、北の鳥海山を源とする日向川、月光川等、多くの河川が流れる山と海に囲まれた広大で肥沃な平野を持つ、日本有数の穀倉地帯です。四季折々の山の幸、海の幸に恵まれた自然豊かな地域で、独自の食文化も形成しています。また、古来より、鳥海山、出羽三山は山岳信仰の聖地としてにぎわい、開湯1,000年を超える湯野浜温泉、あつみ温泉、湯田川温泉を有している地域でもあります。江戸時代には、最上川舟運の発達により内陸の物資が酒田から上方、江戸へと至る「西廻り航路」で運ばれ、庄内・酒田は経済や文化交流の拠点として栄えました。

このような庄内地域で行う「庄内事業構想プロジェクト研究」は、次のような研究会です。

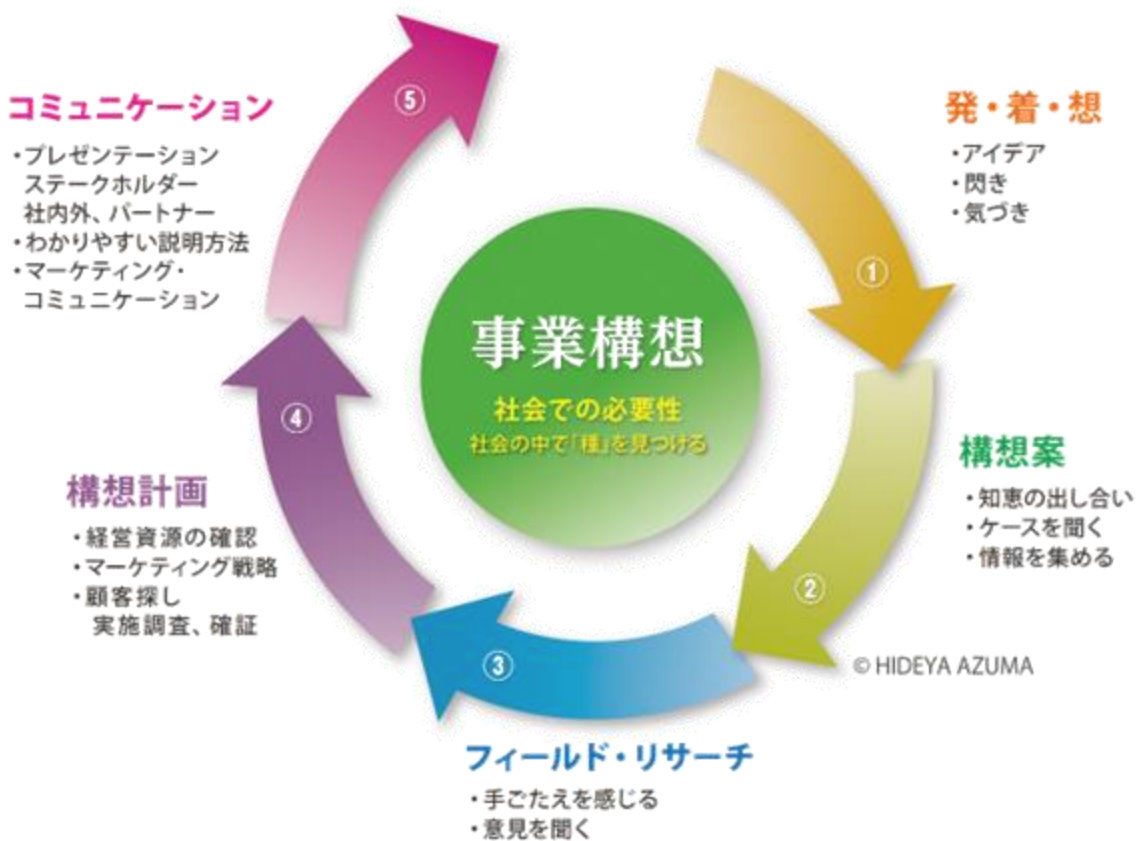
- ・庄内エリアの地域課題解決及び人材育成の推進に資する、新規事業を構想する場です。
- ・事業の根本からアイデアを発想し、理想となる事業構想を構築します。
- ・異業種の企業やパートナーとの知の共有・探索や、コラボレーションによる事業創出活動を実現します。
- ・10か月間（2026年6月～2027年3月《全20回》）の研究会を通じて小さな兆しに目を向け問いを立てられる力を磨き、新たな事業や価値を創出する事業構想人材を育成します。

本研究会は、酒田市及び住友商事株式会社との共催により実施いたします。

事業構想とは

あらゆる組織に求められるものは、構想です。

構想とは、理想の姿の構築であり、構想と構想計画を考え、実現することで企業、地域、そして社会に新たな価値が創出されます。



新規事業で未来をつくる

1. 理論と実践を高めるカリキュラム
2. 専門性と多様性のある教員・多彩なゲスト講師
3. クリエイティブな研究環境
4. 事業構想計画書の策定

本プロジェクト研究の目指すもの

新規事業構想構築と、自ら考え自ら育つ社員の育成

VUCAと呼ばれる変化の激しい現代社会においては、

未来を見据えた新しい事業を構想する力が求められています。

本研究会は、本学独自のMPD（事業構想）カリキュラムを活かして、

参加企業研究員自らが事業の根本のアイデアから発想し、理想となる事業構想を考え、

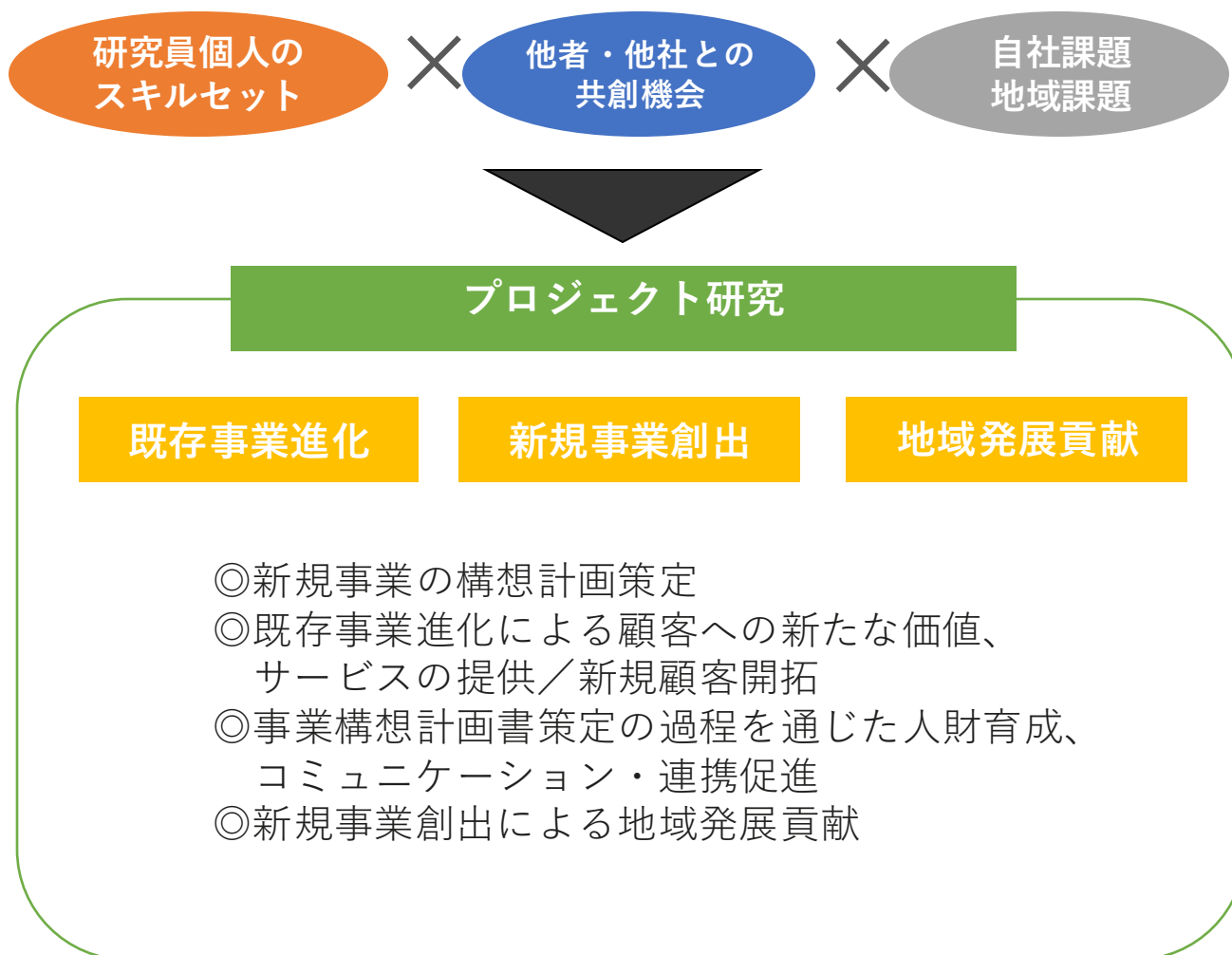
実現可能になるようにアイデアを洗練させ、構想計画を構築することを目的とします。

本気で考える。ロイヤリティからエンゲージメントへ

自育（自ら育つ）のためには、本気で考えることが重要です。

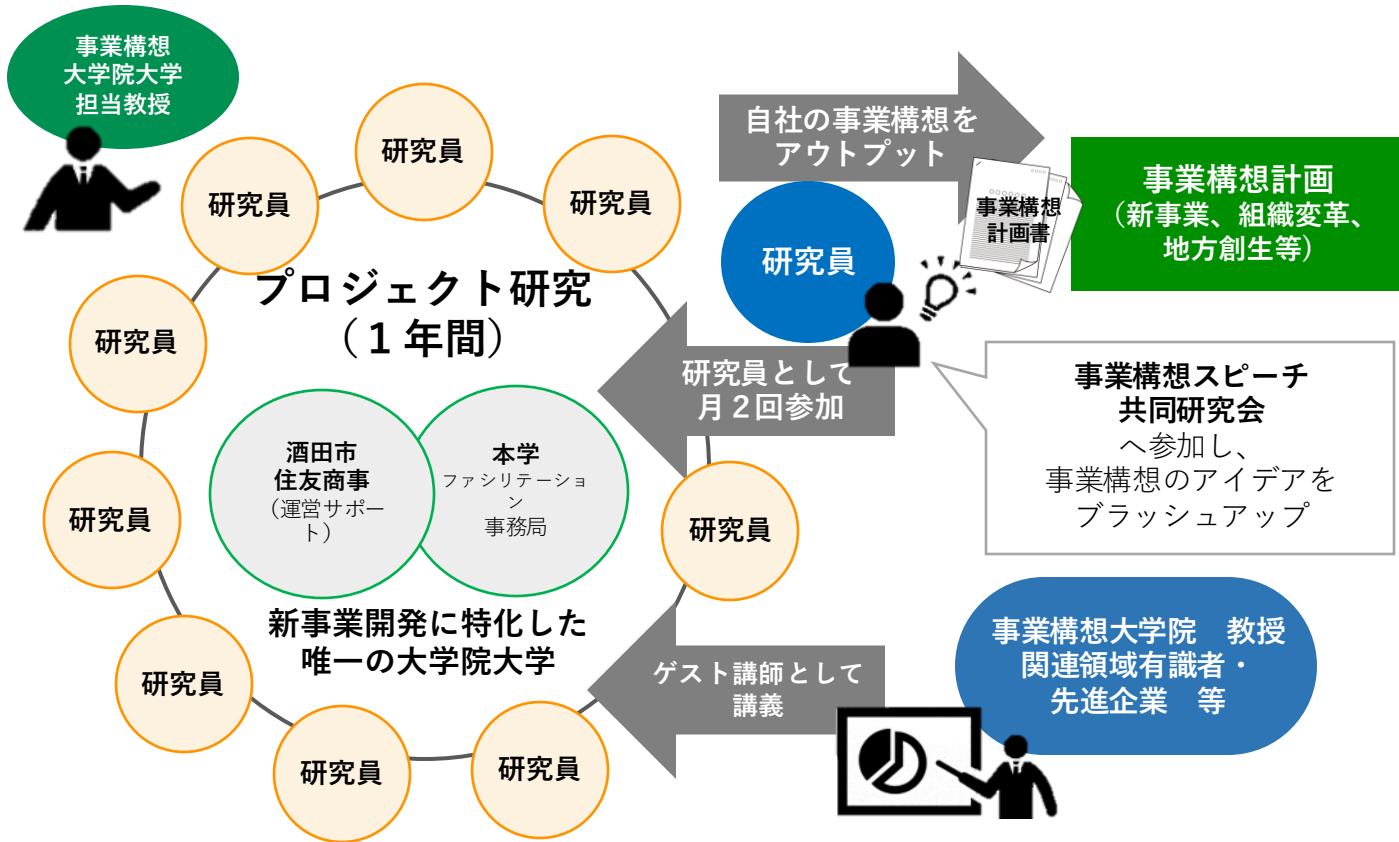
本気で考えれば、気づき、探索し、あきらめずにできる方法を考え抜いていきます。

本学のプロジェクト研究は、本気で考え、社会変化を捉え、自社の経営資源を洞察し、新たな事業構想を生み出していきます。



プロジェクト研究の概要

研究者・大学院教員・ゲスト講師 三位一体のイノベーションコミュニティ



プロジェクト研究の概要

○プロジェクト研究員が新たな事業を構想する1年間の研究会

事業構想大学院の修士課程のカリキュラムのエッセンスを活かし、研究員自らがアイデアを発想し、自社や地域社会に新たな価値を生み出す事業を構築する1年間の研究会です。

○1人の担当教授と10名の研究員で構成

研究会は、原則10名の研究員で構成し、担当教授が1年間を通じてコーディネートとファシリテーションを行いながら、研究員の知見を高めながら推進していきます。

○20回の定例研究会を開催（月2回・1回4時間）

定例のプロジェクト研究は、月2回、1回4時間、合計20回開催。多彩なゲスト講師を招き、研究員の視野を広め視点を磨きながら、研究員各自の知の探索を通じた事業構想を構築していきます。

また、定例研究会以外にも、構想構築に役立つ様々な機会・ツールを活用いただけます。

○「プロジェクト研究員」という資格を付与

研究員は非常勤（雇用関係なし）で、日常の仕事に就きながら、研究会に参加します。社会的に中立な研究員という立場で、ヒアリングやフィールドリサーチを行い、ネットワークを構築することができます。

大学院附属研究所の研究員の資格が付与され、大学院の知やネットワーク、施設を活用できます。

プロジェクト研究の特徴

●研究会のイメージ



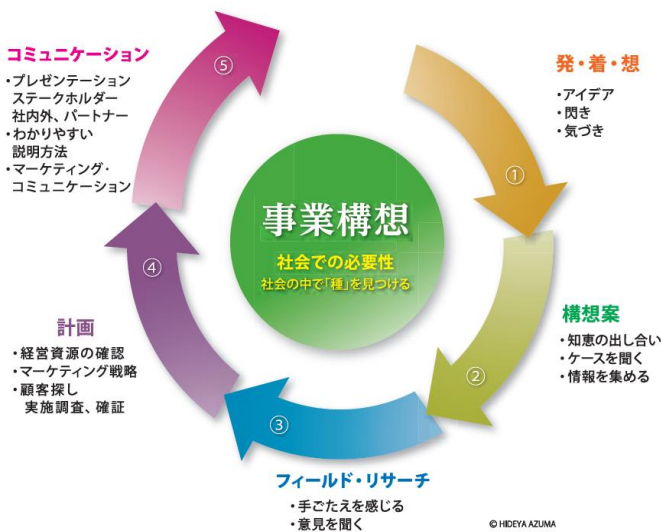
研究会は単なる座学ではありません。仲間とのディスカッションや自らのアイデアを発表する機会が豊富にあります。互いに刺激し合いながら充実した学び得て、新しいアイデアを形にしていきます。ここでの経験が、未来の事業構想を描く力となります。

【事業構想サイクルを実践的に学ぶプロジェクト】

実現したい理想の社会を想像することからスタートし、事業構想サイクル『①事業アイデアを生み出す ②実現可能な構想へと発展させる ③リサーチを行う ④より具体的な構想計画を構築 ⑤それらを実現するために必要なコミュニケーション/プレゼンテーションを行う』を研究会を通じて実践します。

【様々な分野の第一人者とのネットワーク】

事業構想大学院大学は出版部門を有しており、最新事例、第一人者（官公庁・有識者・実践者）とのネットワークを構築しています。本プロジェクトにおいても、ネットワークを活用し、ゲスト講師として様々な有識者や実践者を招へいたします。



プロジェクト研究の全体像

プロジェクト研究は研修ではありません

ゴール設定に基づいたカリキュラムが組まれ、教わって終わりの講義形式中心の研修とは異なります。刺激、知識提供により、広い視野を持ち、アイデアを考え、ディスカッションし、探索し、対象顧客の真の声を聞き、研究していきます。

プロジェクト研究期間

- 定例研究会 4時間×20回（1年間）
- 「事業構想事例研究」受講（年間約50回）
- 個別相談（随時）
- 共同研究会（隔月開催）
- 企業視察
- 事業基礎（オンデマンド受講）
- フィールドリサーチ実践
- 会員制データベース・アーカイブ
- クロスネットワーキング
- 月刊「事業構想」「先端教育」オンラインID付与

事業構想計画書

研究修了後

モチベーション・ネットワーキング

共同研究会

定期セミナー

アルムナイ（任意）

オプション

個別相談

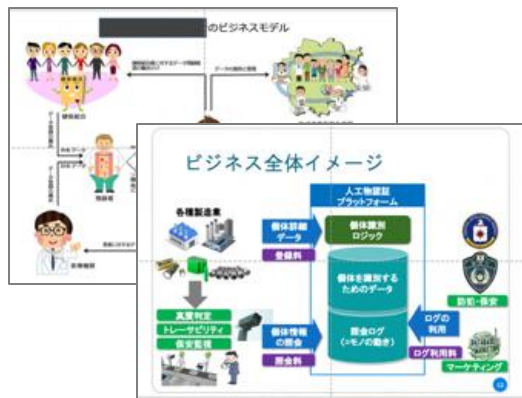
「月刊事業構想」購読

事業構想計画書構成例

定例研究会を中心に個別指導も受けながら、各研究員が1人1つずつ、「事業構想計画」を策定します。

事業構想計画書の構成例

- 事業の概要（エグゼクティブサマリー）
- 対象顧客
- 商品・サービスの定義と顧客への提供価値
- 内外環境分析（背景、経緯、市場予測等）
- 具体的事業内容
- フィールド・リサーチの結果
- 顧客の獲得方法（マーケティングプランや営業方法）
- 組織体制、協同先
- 投資規模、収支計画
- 事業化へ向けた課題と解決案（仮説で可）
- リスクマネジメント



教員・ゲスト講師

担当教員

原尻 淳一
事業構想研究所 客員教授

龍谷大学客員教授
一般社団法人みつかる+わかる代表理事
(株)HARAJIRI MARKETING DESIGN 代表取締役



株式会社東急エージェンシーにて、主に飲料のブランドマーケティングを担当。エイベックグループに転職し、マーケティングの統括者として、主にアーティストのマーケティング、映画の宣伝戦略、アニメの事業計画立案、BeeTV立ち上げ（新規事業）等を行なう。現在は、幅広い業界でマーケティング・コンサルタントとして活躍している。また、龍谷大学客員教授として、マーケティングとアカデミック・スキルズを13年間教え続けている。元龍谷大学社会科学研究所共同研究員。元慶応義塾大学メディアデザイン研究所リサーチャー。日経ビジネススクール講師。リクルートマネジメントスクール講師。環境省家庭エコ診断推進基盤整備事業検討委員、厚生労働省総合的ハラスメント防止対策事業検討委員等も歴任している。

専門性の高い多彩なゲスト講師

各分野における最新事例・第一人者（官公庁・有識者・実践者）とのネットワークを構築しています。本プロジェクトにおいて、各分野の本質を理解しながら、新たな事業の開発につなげることを目指します。



ヘルスケア



イノベーション



コミュニケーション



思考法



事業戦略



経営戦略



公民共創



思考法



新規事業



テクノロジー



経営戦略



地域デザイン



イノベーション



地域活性



脱炭素

カリキュラム予定

- 【期間】 令和8年（2026年）6月 - 令和9年（2027年）3月
 【時間】 定例研究会20回（原則隔週 1回4時間）
 【場所】 酒田市産業振興まちづくりセンターサンロク・オンライン

SEQ	開催日	曜日	開始時刻	終了時刻	分類	内容
1	2026/06/27	土	13:00	17:00	環境設定と発・着・想	オリエンテーション
2	2026/07/11	土	13:00	17:00		事業構想とクリエイティブ発想法
3	2026/07/25	土	13:00	17:00		想像力の強化
4	2026/08/08	土	13:00	17:00		気づきの習慣づけ
5	2026/08/22	土	13:00	17:00		事業構想の起点となる課題発見
6	2026/09/05	土	13:00	17:00		事業構想とコンセプトメイキング
7	2026/09/19	土	13:00	17:00		アイデアプレゼンテーション
8	2026/10/03	土	13:00	17:00	構想案構築	ビジネスモデル研究
9	2026/10/17	土	13:00	17:00		事業構想フレームワーク
10	2026/10/31	土	13:00	17:00		事業構想とマーケティング戦略
11	2026/11/14	土	13:00	17:00		事業構想とストーリー
12	2026/11/28	土	13:00	17:00		中間プレゼンテーション
13	2026/12/12	土	13:00	17:00	構想計画に必要な知識	マーケティング・コミュニケーション
14	2026/12/26	土	13:00	17:00		ファイナンスの基本と収支計画の考え方
15	2027/01/09	土	13:00	17:00		テクノロジーと事業構想
16	2027/01/23	土	13:00	17:00	事業構想計画・策定	事業構想計画立案
17	2027/02/06	土	13:00	17:00		事業構想計画立案
18	2027/02/20	土	13:00	17:00		事業構想計画立案
19	2027/03/06	土	13:00	17:00		事業構想計画立案
20	2027/3/20	土	13:00	17:00		最終版プレゼンテーション

※スケジュール・各回の内容は変更の可能性があります。

募集要項

プロジェクト期間

定例研究会20回、実施期間：令和8年（2026年）6月～令和9年（2027年）3月

募集人数

10名

※人数に達しない場合は開講を延期させていただく可能性があります。

※定員を超えるお申込みがあった場合には、選考とさせていただきます。

※選考の結果は、参加可否問わず、5月中旬にご連絡いたします。

※選考後の参加辞退はご遠慮ください。

会場

酒田市産業振興まちづくりセンターサンロク、オンライン

※原則として、対面参加ができる方を選考いたします。

対象

自社の経営資源や自身の技術を活用して、
庄内エリアの地域課題解決及び人材育成の推進に資する新事業の開発を目指す方

申込期限

一次締め切り：令和8年（2026年）4月20日(月)

申込書類

以下の応募フォームからお申し込みください。（二次元コードからもアクセス可能で

https://share.hsforms.com/1i2xvGiBGR9ixaHJmU_xrQAcjpk

研究会登録番号は 2003 とご入力ください。



研究参加費

10万円（税込）／1名

※会場までの交通費及び宿泊費は自己負担となります。

※各回、ご自身のPC（タブレットでも可）を持参の上、参加をお願いいたします。

※全額前納（令和8年5月22日までの納入になります）

※企業派遣の場合、厚生労働省の人材開発支援助成金 人への投資促進コースの対象となります。

事業構想大学院大学事業構想研究所 研究員の資格（1）

下記の通り、事業構想大学院大学 事業構想研究所の研究員の立場が付与されます。

●研究員証



●名刺



●個別相談



●事業構想スピーチ（年約40回開催）



●他プロジェクト研究との共同研究会



●アルムナイネットワーク



●大学院環境（図書館・サロン）の活用



- ・履歴書に研究員の経歴が記載できます。
- ・また、プロジェクト終了後には、研究報告書作成など規定要件を満たせば研究修了証が授与されます。
- ・名刺、身分証の発行・貸与。
- ・大学院主催「事業構想スピーチ」への参加
- ・図書室やサロンなどの施設の活用。
- ・オンラインデータベースの利用。
- ・アーカイブ視聴。
- ・希望により学会発表、メディア掲載申請が可能。
- ・担当教授に随時相談可能。

●企業視察



研究員の状況を考慮し、AI、XR、ITベンチャーなどの企業や、最先端テーマの施設などの視察訪問を行い、その場で、経営陣や事業責任者との講義や対話を実施しています。異なった環境を直に肌で感じることで、大きく問題意識が変化していくことも多々あります。

●事業基礎 (オンデマンド受講)



ビジネスモデルの基礎、マーケティング、ビジネス会計と収支計画、プレゼンテーション技術など、動画をオンデマンドで視聴し、基礎理解を進めることができます。それをベースにプロジェクト研究を効果的に進めることが可能になります。

●合同研究会



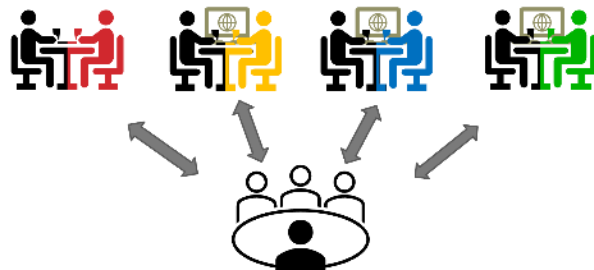
全国で多くのプロジェクト研究が随時実施されています。特に1社型プロジェクト研究では、事前の相談に基づき、他の1~2の研究会和合同研究会を実施しております。時期、業種、研究員の特性を考慮し、テーマ設定を行い、時間を掛け議論することで、互いに新たな発見をしています。

●フィールドリサーチ・実践



フィジビリティスタディだけではなく、本当にその構想案が実現できるのか、研究員の立場を活用し、想定顧客に仮説営業を実施しています。正解は顧客の中にある。しかし、顧客自身も正解を知っているわけではありません。ヒヤリングにとどまらず、仮説営業を実践しています。

●サーカス形式研究会



担当教員以外に本学の多様な教授陣5~7人が参加し、研究員は順に1対1で複数の教員と構想案等の壁打ちを行います。様々な切り口のアドバイスで、ブレイクスルーのきっかけとなっています。

●クロスネットワーキング



研究科には、様々な年齢、業種、経験の院生、修了生が多くいます。ほぼ毎週実施の「事業構想事例研究」には院生のほか、多くの修了生も参加します。各校舎では、研究員の方と、院生、修了生との方の対話の場を設け、人脈を広げるイベントも随時実施しています。

事業構想スピーチ(任意参加／会場校舎・オンライン参加可)

- 月曜日の19時から21時に2時間のスピーチを実施(年間約40回)
- 各界を代表するキーパーソンから、最先端ビジネスモデル・社会モデルを学び「発・着・想」を得て、事業構想構築に活かします。

登壇者例 (※所属・役職は登壇当時のもの)



Twitter Japan
笹本裕社長



三井住友フィナンシャルグループ
中島達 取締役 執行役社長



クレディセゾン
林野宏 社長



タニタ・谷田千里社長



メニコン 田中英成社長



JR九州
会長・唐池特別招聘教授

プロジェクト研究共同研究会(任意参加／会場校舎・オンライン参加可)

- 組織・研究会の枠を超えた共創を行うための共同研究会を定期開催。(年6回予定)
- 全国のプロジェクト研究の研究者との交流、また修了後の構想の発表・ディスカッションの機会となります。



訓練対象者

雇用保険適用事業所における、**雇用保険の被保険者**

手続きの流れ

1. 訓練計画の作成・提出 【訓練開始の前日から起算して**1か月前まで**】
 - ・「事業内職業能力開発計画」の策定
 - ・「職業能力開発推進者」の選任
 - と必要書類を**労働局**に提出
2. 訓練の実施
3. 支給申請書の提出 【訓練終了後**2か月以内**】
 - ・「支給申請書」と必要書類を**労働局**に提出
4. 助成金の支給

※申請書類等は、申請時期により様式が異なりますので、詳細は厚生労働省ホームページをご確認いただき、職業訓練実施計画届または制度導入・適用計画届提出時の様式をお使いください。

令和7年（2025年）9月時点

必要な書類

(A) 訓練計画提出時に必要な申請書類 (例)

- ・職業訓練実施計画届（様式第1-1号）
- ・対象労働者一覧（様式第3-1号）
- ・事前確認書（様式第11号）
- ・訓練カリキュラム、受講案内等
- ・訓練に係る教育訓練機関（本学）との契約書、又は受講案内及び申込書の写し等

(B) 支給申請時に必要な書類 (例)

- ・支給要件確認申立書（共通要領様式第1号）
- ・支払方法・受取人住所届（既に口座を登録している場合は不要）
- ・支給申請書（様式第4-2号）
- ・賃金助成・OJT実施助成の内訳（様式第5号）
- ・経費助成の内訳（様式第6-2号）
- ・対象労働者のOFF-JT実施状況報告書（様式第8-1号）

支給対象者

- **在職者**：雇用保険への加入期間が**3年以上**の方
- **離職者**：離職後**1年以内**の方（離職前の雇用保険の期間が3年以上）

※過去に受給経験がある場合は、前回の受給から3年以上経過している必要あり。

手続きの流れ

1. 訓練前キャリアコンサルティング

「訓練対応キャリアコンサルタント」による、「訓練前キャリアコンサルティング」を受け、就業の目標、職業能力の開発・向上に関する事項を記載した**ジョブ・カード**の交付を受ける。

※訓練対応キャリアコンサルタントの所在については、最寄りのハローワークへお尋ねください。

2. 受講前の手続【訓練開始日の**1か月前まで**】

必要な書類(後述)を、本人の住所を管轄する**ハローワーク**に提出。

3. 訓練の実施

4. 支給申請【受講後（受講修了日の翌日から起算して**1か月以内**）】

必要な書類(後述)を、本人の住所を管轄する**ハローワーク**に提出。

5. 給付金の支給

必要な書類

● **受講前の手続に必要な書類**

- ①教育訓練給付金、および、教育訓練支援給付金受給資格確認票
- ②上記のジョブ・カード
- ③本人・住居所確認書類（マイナンバーカード、運転免許証、住基カード等）
- ④個人番号（マイナンバー）確認書類、身元（実在）の確認書類
- ⑤払渡希望金融機関の通帳またはキャッシュカード
- ⑥専門実践教育訓練給付および特定一般訓練給付再受給時報告（過去に受給した方のみ）

● **支給申請に必要な書類**

- ①受給資格確認通知書
- ②教育訓練給付金支給申請書 ※本学より用紙を配布
- ③教育訓練修了証明書 ※本学より用紙を発行
- ④領収書 ※本学より用紙を発行
- ⑤本人・住所確認書類（受講前の書類③と同様）
- ⑥個人番号（マイナンバー）確認書類（受講前の書類④と同様）
- ⑦返還金明細書
- ⑧教育訓練経費等確認書



学校法人 **先端教育機構**
Advanced Academic Agency

理念

知の実践研究・教育で、社会の一翼を担う

2012年4月に東京・南青山に開学した、事業構想と構想計画を構築・実践する社会人向け大学院。事業の根本からアイデアを発想し、事業の理想となる構想を考え、実現するためのアイデアを紡ぎ、構想計画を構築していくことを対象とした多様なカリキュラムを提供しています。多彩な業界で活躍する教員・院生と議論を重ね、2年間で事業構想計画書の提出を経て、専門職学位の「事業構想修士（専門職）」（MPD：Master of Project Design）が授与されます。拠点は東京、名古屋、大阪、福岡、仙台の5校舎で計829名が修了し、数多くのイノベーションとなる新事業が生まれています。



学校法人 先端教育機構
事業構想大学院大学

設置者 学校法人先端教育機構
研究科 事業構想研究科事業構想専攻
校舎 東京・名古屋・大阪・福岡・仙台
修業年限 2年間（授業日：平日夜間・土曜日）
学位 事業構想修士（MPD）

新たな事業を創り上げる。



仙台校
JR仙台駅 直結
イーストゲートビル



東京校（青山）
表参道駅1分
法人本部棟



大阪校
JR大阪駅 直結
グランフロント大阪
北館



名古屋校
JR名古屋駅 直結
JRゲートタワー



福岡校
JR博多駅 直結
JRJP 博多ビル



個人情報の取り扱いについて

本大学院が出願書類を通じて取得する個人情報は、①研究員選考、②合格者発表、③参加手続き、④選考方法等における調査・研究、⑤本大学院からのお知らせ、⑥これらに付随する業務を行うために、事務局、担当教授が利用します。

問合せ先：

事業構想大学院大学 仙台校

[TEL:022-257-8411](tel:022-257-8411)

E-mail：sendai@mpd.ac.jp